

【参考】新規就農研修（農業体験研修）の心構え等について

■農業体験研修の概要

この研修は、将来農家として自立したときの生活スタイルを知ることが目的です。したがって、研修先となる受入農家は、「研修」と言いながらも、「午前9時から午後5時まで」とか「午前中は講義」といったものではありません。受入農家の方と一緒に生活しながらの農作業体験が中心となります。

農作業の時間や休憩・休日などは特に定めませんので、受入農家の都合に合わせてことになります。

また、研修期間中には、地域農業の紹介や先進地農家の視察、青年農業者等との交流会なども予定していますが、特に希望することがありましたら担当の農業普及指導センター等へ申し出てください。

■農業体験研修のねらい

1 経営としての農業を知る

皆さんは農業経営者（社長）になることを目指して研修を申し込まれた方々です。まずは経営者としてどのような考え方が必要なのかを知ることが必要です。

皆さんを受け入れる農家は、いずれも各地域を代表する農家の方です。農業技術、経営技術ともに優れ、地域のモデルとなっています。ですから、この研修では、ただ単に農作業を一緒にするのではなく、なぜその作業をするのか、なぜそのような判断になるのか、受入農家をよく観察し、よく考えながら取り組むことが大切です。

2 地域の農業を知る

産地やそれを作り上げてきた農家には、多くの苦勞とそこに至るまでの努力と工夫があったはずですが、そうしたことを知らずして、地域の一員になり、地域の発展に貢献することは困難です。

地域の人たちが、どのような意気込みで農業に取り組んでいるか、それぞれの立地条件をどう克服し活用しているのか、それらを農業や産地の実態を自分の五感で直接確かめることが大切です。

■農業体験研修の心得

1 毎日の研修記録（作業日誌）をつける

皆さんが研修を受ける場所は農家です。特別に講義の時間を設けてくれる訳ではありませんが、農業関係の本を読んだり、作業内容や気が付いたことをメモすることは大切です。

慣れない農作業で疲れることも多いと思いますが、毎日の学習や研修記録が研修終了後の経営計画の策定や農業を実践する上で貴重な資料となるはずです。

なお、研修記録については、受入農家及び農業普及指導センターの担当者に内容を確認してもらうようにしていますので（受入農家には基本的に毎日、農業普及指導センターには週1回程度）、記録を書いたら確認をしてもらってください。

2 疑問を残さない研修とするために

皆さんが農業についての知識や経験が乏しいことは農家の方も承知していますが、皆さんが黙っては何も教えてくれない場合があるかもしれませんので、皆さんの方から遠慮なく質問をしてください。農家の方は皆さんからの積極的な質問を期待していません。疑問があれば質問をして理解することが大切です。

また、実りある研修にするためにも、農家の方からの指示がないときには、皆さんの方から積極的に何をすればいいのかを聞いてみてください。

3 施設や農機具使用のエチケット

皆さんは受入農家の施設や農機具を利用させてもらって研修を受けます。したがって、その取り扱いは、丁寧にしてください。

片付けは、大切な作業の1つです。使った後の片付け方は受入農家の方の指示に従ってきちんと行ってください。

4 「自分は研修生だ」という特別な意識を持たない

皆さんは研修生という立場ですが、農家の方は、皆さんを指導するためだけに経営を行っている訳ではありません。研修生だから全てお膳立てしてもらえないものではなく、自分から意欲を持って取り組むことが大切です。

また、農業と直接関係ないと思われる内容もあるかもしれませんが、地域の事柄はどこかでつながっているものです。何にでも積極的に取り組みましょう。

5 すぐに批判しない・結論を急がない

知らない土地で、異なる人情や慣習に接すると、異を唱えたいくなることもありますが、これを口に出すことは厳に慎まなければなりません。

皆さんから見ておかしいと思われることでも、その家や地域にあるものには、それなりの理由や背景があるものです。まずは理解することを心がけましょう。

6 病気や事故に十分注意する（無理をしない）

有意義な研修を行うには、健康が第一です。体調を崩したときには、無理をせず、農家の方に申し出てください。

研修中は受入農家の指示や指導を守り、怪我などしないよう、よく注意してください。分からないことは受入農家に尋ね、危険と思う作業は行わないようにすることも大切です。また、必ず傷害保険等に入るようにしてください。

■研修期間中の生活について

生活様式や家庭の雰囲気に関わり込む

研修場所は、皆さんがこれまでに生活していた地域とは、生活様式も環境も大きく異なっていると思いますが、そうしたことを理解し、溶け込むことが周囲との調和を生み出していくことが研修を活用して就農するための大事な前提です。

そうした理解を早めるために、農家の方から生活の概要や土地柄について話を聞かせてもらいましょう。農作業が終わったからと帰るのではなく、農家の方の迷惑にならない範囲で、出来るだけ家族の中に入って気軽に話をすることが必要です。